

学校図書館支援センター通信 NO.75 3月号

平成25年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

平成25年度 文部科学省「確かな学力の育成に係る実践的調査研究 学校図書館担当職員の効果的な活用方策と求められる資質・能力に関する調査研究」第2回事業委員会・協力校合同会議

2月13日（木）教育センターにて、事業委員長である東京学芸大学教授 大熊 徹 様をはじめ、教頭会代表 真間小学校 古田 由美子 様、研究協力校の新井小・塩焼小・第七中の校長・研究主任・司書教諭・学校司書・学校図書館員と事務局である教育センター職員が集まり、今年度の研究のまとめの会議を開催しました。

まず始めに教育センターから今年度の事業概要を説明し、引き続き各協力校より授業研究における成果と課題について発表がありました。

事業委員長の大熊先生は講評の中で、「学校図書館を活用した学習は、授業に入る前の段階『0次レイツグ』から既に始まっています。ただ図書を使うのではなく、子どもたちの学習活動が図書を活用することによってより豊かになるための手立てが大切です」とのお話がありました。

詳しい内容や今年度の研究の成果や課題については、研究紀要「生きる力・夢や希望を育む学校図書館4」にまとめて、来年度初めに各学校に配付いたしますので、学校図書館を活用した授業等にご活用いただければと思います。

今年度は公立幼稚園でのネットワーク利用が増えました。就学前からたくさんの図書に触れている子どもたちが、4月からは1年生となって小学校に入学してきます。学校図書館を訪れてくれるのが楽しみです。

お話ボックスを使って 富貴島小学校（1/29）

富貴島小学校では、豊かな心を求めて「一人ひとりの主体的な学びを育てる国語科学習」をテーマに研究授業が展開されました。

3年生は「お話ボックス」を使って、読書会「『車のいるは空のいる』シリーズ この物語一番〇〇！を伝え合おう」を行いました。

「お話ボックス」とは、自分が選んだ物語のお気に入りの場面を箱の中に作り、それを提示しながら読書会を行うアイテムです。

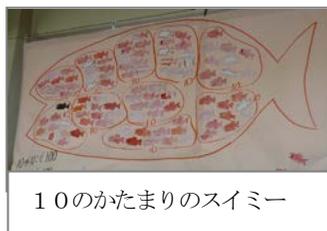
題名・作者・あらすじ・登場人物・相関関係・心に響いた場面とその理由等を「お話ボックス」を見せながらグループ内の友だちに伝えます。

物語のお気に入りの場面を自分で作ることで作品への愛着が強まり、どのグループも白熱した読書会が展開されていました。読書会の後には、「お話ボックス読んだよカード」を記入し、子どもたちは同じ物語を読んでも人によって好きな場面が違うことや、同じ場面を選んで感じ方に違いがあることに気付きました。

1年生の教室には、大きな「スイミー」の絵が飾られていました。よく見ると10匹きずつのかたまりに分けられていて、大きな数の学習が行われていました。算数の学習もこのような形で学校図書館と結びつけることが出来ますね。



お話ボックス



10のかたまりのスイミー

学校図書館活用意識調査 司書教諭・学校司書・学校図書館員・幼稚園担当者 編

第3回学校図書館研修会・ネットワーク会議の際に、司書教諭・学校司書・学校図書館員・幼稚園ネットワーク担当者の方々にご協力いただいた、「学校図書館活用に関する意識調査」の集計結果をお知らせいたします。



1. 学校図書館を教育課程全般で活用している。

あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	無回答
34%	39%	15%	1%	11%

2. 図書館を活用する時は、学校司書・学校図書館員と打ち合わせをしている。

あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	無回答
50%	36%	2%	3%	9%

3. 学校図書館を活用した授業を行う時は、学校司書・学校図書館員を活用している。

あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	無回答
41%	33%	11%	3%	12%

4. 学校図書館活用全般を通して、児童生徒が様々な種類(0~9類)の図書に触れるように呼びかけている。

あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	無回答
41%	33%	11%	3%	12%

5. 児童生徒が図書資料から得た情報をもとに、自分の考えをまとめる授業を行っている。

あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	無回答
27%	43%	11%	4%	15%

6. 学校図書館を活用した授業や読書行事で児童生徒に培えると思われる力(複数回答可)

思考力	表現力	問題解決力	作文力	知識の増加	規範意識	感動する心	思いやりの心	その他
55人	56人	36人	18人	69人	5人	67人	27人	1人

※無回答には、学校図書館活用の授業を行わない幼稚園ネットワーク担当者の方の回答を含みます。

今回は学校図書館担当者を対象とした調査でしたので、学校図書館を活用した授業展開や、学校司書・学校図書館員のサポートを積極的に取り入れている状況が伺える結果となりました。

全ての教員の意識が上記の結果に近づいていくように、各学校の図書館部会を中心に、学校図書館の積極的な活用を推進していただきたいと思います。

お知らせ

3月14日（金）は、今年度の学校図書館調査の提出日となっております。

- ① 学校図書館年間利用計画……年度末の修正を行ってください。（入力のみ）
- ② 学校図書館活用時間数……
- ③ 学校図書館チェックリスト……
- ④ 学校図書館実態調査……

必要事項を入力し、印刷して提出

上記、①～④のシートは市内共有フォルダ内に準備してありますので、入力及び提出をお願いいたします。



『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。

市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4

TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352

<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

